

## 第6款 農林水産業費

### 主要データ

#### ① 専業・兼業別農家数(2005年農林業センサス)

区分	総数	専業		第1種兼業		第2種兼業	
		実数	割合	実数	割合	実数	割合
平成17年	53	27	50.9%	8	15.1%	18	34.0%

※第1種兼業農家: 農業所得を主とする兼業農家

※第2種兼業農家: 農業所得を従とする兼業農家

### 項1 農業費

#### 目2 農業総務費

##### 1 有害鳥獣駆除経費

章	3	節	2	施策	1	予算額	607	決算額	532
---	---	---	---	----	---	-----	-----	-----	-----

農林業及び生活環境への被害を及ぼす鳥獣の駆除を登別市有害鳥獣駆除協議会に委託し実施した。

駆除鳥獣 キツネ、カラス、ドバト、シカ、アライグマ

##### 2 農業振興特別補助金

章	3	節	2	施策	1	予算額	10,650	決算額	10,650
---	---	---	---	----	---	-----	--------	-----	--------

昭和43年以降に実施した土地改良事業について、受益者負担金相当分を助成することにより、土地改良事業の円滑な推進を図った。

#### 目3 畜産費

##### 1 資源リサイクル畜産環境整備事業負担金

章	3	節	2	施策	1	予算額	8,799	決算額	8,439
---	---	---	---	----	---	-----	-------	-----	-------

畜産経営の急激な規模拡大、高齢化等を背景に家畜排せつ物の不適切な処理が問題となっており、これら畜産環境問題の解決を図るため、処理施設や周辺環境の整備を行うとともに還元用草地等を一体的に整備して、家畜排せつ物の有機質資源としての有効活用を進めた。

事業内容	事業実施主体		
基盤整備	北海道農業開発公社	草地造成整備改良	20.43ha
		水質汚濁防止基盤整備	399m <sup>2</sup>
施設整備		尿溜	216m <sup>3</sup>
		家畜排泄物運搬等機械	4台

2 牧場管理経費

章	3	節	2	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	3,045	決算額	2,820
-----	-------	-----	-------

草地維持管理事業

家畜防疫事業

平成18年度より伊達市農業協同組合を指定管理者に指定し、管理を行った。

牧場管理運営事業

入牧期間	5月30日～11月8日(163日間)			
牧場利用頭数	牛	42頭	馬	2頭
利用延頭数	牛	4,630頭	馬	180頭
利用戸数	牛	4戸	馬	1戸
増体重	牛	572g/日	93.3kg(入牧期間)	

3 受精卵移植推進協議会補助金

章	3	節	2	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	450	決算額	450
-----	-----	-----	-----

酪農及び肉用牛経営の安定と向上を図るため、受精卵の移植技術者養成及び受精卵移植による固体改良を進める受精卵移植推進協議会の事業を補助した。

受精卵移植研究(体内受精卵移植・体外受精卵移植)

受精卵採卵

研修費他(技術資格養成講習会・研修会・講演会等)

採卵助成	乳用種	9頭	採卵数	145個
	肉用種	20頭	採卵数	287個

※繁殖雌牛に血統の優秀な種牛の精子を人工受精し、他の牛に移植するための採卵をする。

体内受精卵移植助成	乳用種	102頭	受胎率	40%
	肉用種	301頭	受胎率	57%

4 酪農ヘルパー事業運営補助金

章	3	節	2	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	720	決算額	720
-----	-----	-----	-----

酪農経営の安定的な発展と生活環境の改善向上を目指す酪農ヘルパー事業に対し支援した。

酪農ヘルパー利用組合加入農家数 9戸 酪農ヘルパー利用延べ回数 104回  
事業主体 伊達市酪農ヘルパー利用組合

目4 農地費

1 農業用施設等管理経費

章	3	節	2	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	1,555	決算額	1,531
-----	-------	-----	-------

農業生産の向上を図るため、改修が必要となった農業用施設の修繕等を行った。

既設排水路の修繕

海岸吐口閉鎖除去等

## 目5 中山間地域対策費

### 1 中山間地域等直接支払交付金

章	3	節	2	施策	1	予算額	1,770	決算額	1,770
---	---	---	---	----	---	-----	-------	-----	-------

急傾斜地などの条件の不利な農地において耕作放棄地の発生防止と多面的機能を確保するため、農業生産活動の推進を進めている鉱山集落に対して支援した。

平成17年～平成21年度事業内容

- ① 基本方針の策定
- ② 集落協定の作成
- ③ 共同取組活動(共同利用機械の購入)
  - ・農用地維持管理活動
  - ・農道維持管理活動
  - ・集落協定の作成
  - ・肥料散布用トラクター導入
  - ・植栽事業の実施

### 2 特定農山村地域活動支援事業費

章	3	節	2	施策	1	予算額	1,208	決算額	1,207
---	---	---	---	----	---	-----	-------	-----	-------

国は平成5年に特定農山村法を制定し、高収益・高付加価値型農業の展開のための事業、多様な担い手育成のための事業、地域間交流の促進のための事業を計画的に取り組むために、特定農山村総合支援事業を実施している。

当市は平成15年に特定農山村地域市町村活動支援事業実施市町村の指定を受けたことから、地域の実情に応じた事業を計画的に実施している。

※本事業は、平成19年度をもって終了する。

- (1) シカの農作物等食害対策事業費 

予算額	250	決算額	250
-----	-----	-----	-----

シカによる農作物等食害を防止するため、熊のふんの忌避剤としての利用可能性について調査研究を行った。

- (2) 乳質改善事業費 

予算額	442	決算額	442
-----	-----	-----	-----

全道トップクラスの乳質を維持するため、酪農振興協議会が行う乳房炎防除対策を主体とした乳質改善事業に対し支援した。

- (3) 担い手農業者等支援事業費 

予算額	100	決算額	99
-----	-----	-----	----

次代を担う農業者が、農業経営に希望と意欲をもって取り組むことができるよう、各種研修会や講習会への積極的な参加を促し、経営感覚に優れた視野の広い農業者の育成に努めた。

- (4) 地域特産品開発事業費 

予算額	101	決算額	101
-----	-----	-----	-----

地場産品を活用した登録にふさわしい特産品の開発と製品化を図るための調査を進める。平成18年度は、道内他市町村の特産品開発の取組と製品化事例について調査を行った。

- (5) 都市農村交流促進事業費 

予算額	315	決算額	315
-----	-----	-----	-----

農村休暇法による農村滞在型余暇活動機能整備計画(市町村計画)に即した農業体験サービスの拡充と地場畜産物の直売体制の整備など、グリーンツーリズムの農業の振興を図るため、基本となる農村滞在型余暇活動機能整備計画を策定した。

## 目6 札内高原館費

### 1 札内高原館運営管理経費

章	3	節	2	施策	1	予算額	5,383	決算額	5,343
---	---	---	---	----	---	-----	-------	-----	-------

平成18年度より有限会社のぼりべつ酪農館が体育館等の開放等を行い、札内地区におけるコミュニティセンターとしての役割を果たした。

コミュニティ施設(交流室、体育館等)の開放

交流室	利用者数	554人 ( 38回)
体育館	利用者数	2,117人 (192回)
その他	利用者数	42人 ( 1回)

## 項2 林業費

### 目1 林業振興費

#### 1 林業振興経費

章	2	節	3	施策	1	予算額	2,552	決算額	2,128
---	---	---	---	----	---	-----	-------	-----	-------

森林のもつ多面的機能の保全を図るため、森林保護の啓蒙活動を行うとともに、崖崩れや土砂流出を防ぐために施工された治山施設の修繕等を行った。

事業内容 啓蒙チラシ配布、治山事業施設の維持管理補修、各種関係協会負担金

#### 2 森林愛護啓蒙事業補助金

章	2	節	2	施策	1	予算額	110	決算額	110
---	---	---	---	----	---	-----	-----	-----	-----

林野火災予消防計画で予防対策実施機関として位置づけられているとともに、林野火災予消防対策協議会の一員として、林野火災予防と森林保護並びに入山者の遭難防止のため、入山者に対する啓蒙チラシの配布及び巡視活動等を行う登別市森林愛護組合連合会に助成した。

事業内容 啓発看板の製作(5枚)、林野火災予防・森林保護及び遭難予防チラシ配布  
連合会での啓発巡視、8単位組合での巡視

#### 3 民有林造林推進事業補助金

章	2	節	2	施策	1	予算額	6,912	決算額	6,670
---	---	---	---	----	---	-----	-------	-----	-------

森林の有する多面的機能の維持増進と森林資源を確保するため、民有林のうち国、道の補助を受けた植栽、下刈、除間伐事業に対し国、道の補助額を控除した残額について補助した。

区分	平成18年度	平成17年度	平成16年度
植栽面積	21.50 ha	17.50 ha	24.50 ha
間伐面積	14.48 ha	— ha	— ha
下刈面積	93.88 ha	83.78 ha	72.28 ha

#### 4 森林整備地域活動支援交付金

章	2	節	2	施策	1	予算額	1,279	決算額	1,239
---	---	---	---	----	---	-----	-------	-----	-------

森林所有者の経営意欲の低下、林業従事者の減少や高齢化等により森林の適切な管理活動が十分に行われなくなっており、このままでは森林の有する多面的機能に支障が生ずる恐れがある。これを防ぐため計画的な森林施業が適切に行われるようその活動を支援した。

## 項3 水産業費

## 主要データ

### ① 漁業経営実態の推移 (各年12月末現在)

区分	動力 漁船(隻)	経営体数 (戸)	漁業従事 者数(人)	漁獲高 (t)	水揚高 (千円)
平成18年	91	57	114	5,739	1,203,542
平成17年	92	60	117	4,874	890,181
平成16年	90	58	116	3,787	754,090

## 目1 水産業総務費

### 1 登別救難所運営事業補助金

章	3	節	2	施策	1	予算額	275	決算額	275
---	---	---	---	----	---	-----	-----	-----	-----

登別市地先周辺での海難事故防止及び救難活動を行うための登別救難所に対し補助した。

海難事故防止啓発活動、救急・救助体制整備、定期訓練等

### 2 漁業近代化資金利子補給金

章	3	節	2	施策	1	予算額	670	決算額	506
---	---	---	---	----	---	-----	-----	-----	-----

漁業経営の近代化を図るため、漁業近代化資金助成法に基づき「漁業近代化資金」として、北海道と登別市の承認を受けた資金について、国や道が行う利子補給等の措置に上積み措置を講じた。

平成18年度	上期利子補給額	280,870円	件数	15件
	下期利子補給額	224,761円	件数	13件

### 3 漁港まつり運営費補助金

章	3	節	2	施策	1	予算額	380	決算額	380
---	---	---	---	----	---	-----	-----	-----	-----

漁港愛護の啓発、漁業・水産業者と地域住民との交流の促進を図るため助成した。

登別漁港まつり

開催日	9月10日・11日
事業内容	漁船満船飾出入港、海上安全大漁祈願祭、漁船機器漁具展示即売会、海産物即売、踊りパレード、花火大会、よさこいソーラン、朝揚げ鮭即売、ビンゴゲーム等

### 4 水産業振興対策事業補助金

章	3	節	2	施策	1	予算額	33	決算額	33
---	---	---	---	----	---	-----	----	-----	----

水産加工残渣や漁業雑肥の有効活用を図り、水産加工業者及び漁業者の産業廃棄物処理費の軽減を図るため、登別漁業協同組合が行う(有)胆振共同ミールの設備改修に係る借入金の利子に対して補助した。

5 エゾバフンウニ種苗放流事業補助金

章	3	節	2	施策	1	予算額	1,000	決算額	1,000
---	---	---	---	----	---	-----	-------	-----	-------

いぶり中央漁業協同組合が、資源の増殖を目的にエゾバフンウニの5ミリ種苗を購入し、登別漁港内において中間育成籠で15ミリ程度まで育て、鷲別岬及び蘭法華岬等転石海域に放流を行う事業に対して、購入費の1/2を負担した。

資源量が回復し、ウニ漁に着業する漁業者も増えたため平成18年度において終了した。

エゾバフンウニ(5ミリ種苗) 20万粒購入

6 いぶり中央漁業協同組合青年部・女性部合同研修事業補助金

章	3	節	2	施策	1	予算額	250	決算額	220
---	---	---	---	----	---	-----	-----	-----	-----

漁協青年部・女性部合同で先進地に派遣研修を行い、新たな販売手法の確立や人材育成を行う事業への補助を行った。成果が見られたため平成18年度にて事業を終了した。

7 沿岸漁業漁村振興構造改善事業補助金

章	3	節	2	施策	1	予算額	210,233	決算額	202,298
---	---	---	---	----	---	-----	---------	-----	---------

食品への安全・安心に関する消費者ニーズが高まっているなか、水産物に対してもより高度な水準が求められており、漁獲から出荷まで一貫した衛生管理体制の構築が必要である。

このため、いぶり中央漁協が建設を行う高度衛生管理型荷捌所(製氷・冷蔵施設併設)に対して北海道・白老町と連携し支援を行い、安全・安心な水産物の出荷に努め、登別漁港産の水産物の付加価値を高めることで消費拡大を図り、漁家経営の安定を目指した。

(単位:千円)

区分	当初予算	決算	備考
総事業費	496,200	476,910	
登別市	210,233	202,298	全額道補助金
漁協	285,967	274,612	登別市50,000、白老町50,000補助

8 沿岸漁業構造改善事業補助金

章	3	節	2	施策	1	予算額	6,995	決算額	6,995
---	---	---	---	----	---	-----	-------	-----	-------

いぶり中央漁業協同組合が行う高度衛生管理型の荷捌所の建設事業及び附帯工事である水道管敷設工事に対し支援を行った。(10年間の債務負担行為設定)

目2 漁港管理費

1 登別漁港維持管理事業補助金

章	3	節	2	施策	1	予算額	320	決算額	320
---	---	---	---	----	---	-----	-----	-----	-----

登別漁港の港内照明塔電気料や軽易な維持管理を行ういぶり中央漁業協同組合に、経費の一部を補助した。

2 鷲別漁港維持管理事業補助金

章	3	節	2	施策	1	予算額	104	決算額	95
---	---	---	---	----	---	-----	-----	-----	----

鷲別漁港の港内照明塔電気料や軽易な維持管理を行ういぶり中央漁業協同組合に、経費の一部を補助した。